

# 第 54 回理学療法士国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

## 午前 第 17 問

17 6 歳の男児。顕在性二分脊椎症による脊髄髄膜瘤の術後。大腿四頭筋、大内転筋の作用はなく、ハムストリングス、前脛骨筋、後脛骨筋、長母指伸筋および長指伸筋が作用している。踵足変形のため靴型装具を使用しており、独歩可能である。

予測される Sharrard の分類の上限はどれか。

1. I 群
2. II 群
3. III 群
4. IV 群
5. V 群

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

設問が不十分で正解が得られないため。